

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 8 年度 洪水予測精度検討・保守業務
業 務 概 要	洪水予測システムの精度検証 1 式 洪水予測システム保守 1 式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 九州地方整備局長 森下 博之 福岡市博多区博多駅東 2－1 0－7
契 約 年 月 日	令和 8 年 8 月 2 1 日
契 約 業 者 名	令和 8 年度 洪水予測精度検討・保守業務東京建設コンサルタント・建設技術研究所設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市博多区博多駅南 2－1 2－3
契 約 金 額	9, 9 5 5, 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	9, 9 5 5, 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	福岡県福岡市博多区博多駅東 2 丁目 1 0 番 7 号
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 8 年 8 月 2 2 日
履 行 期 間 (至)	令和 9 年 3 月 1 2 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和8年度 洪水予測精度検討・保守業務
2. 履行場所 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住 所： 福岡県福岡市博多区博多駅南2丁目12番3号
会社名： 令和8年度 洪水予測精度検討・保守業務
東京建設コンサルタント・建設技術研究所設計共同体
電 話： 092-432-8000

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、洪水予測システムの予測精度向上を図るため、各水系における過去の代表出水の実績水位と予測水位を比較検証し、誤差の要因分析や水位変動特性の整理を行うほか、別途用意する洪水予測システム計算過程可視化ツールに用いるデータを作成するものである。また、洪水予測システムについて、洪水予測計算が正常に稼働していることを確認するため、点検を実施するものである。

2) 業務の内容

- | | |
|-----------------------------------|----|
| ・計画準備 | 1式 |
| ・資料収集整理 | 1式 |
| ・実績水位と予測水位の比較検証、誤差の要因分析、水位変動特性の整理 | 1式 |
| ・洪水予測システム計算過程可視化ツール用ファイル作成 | 1式 |
| ・水害リスクライン洪水予測システム点検 | 1式 |
| ・報告書作成 | 1式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を21者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び実績水位と予測水位の比較検証、誤差の要因分析を行う上での留意点に係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、評価テーマの「実績水位と予測水位の比較検証、誤差の要因分析を行うとともにサーバ保守を行う上での留意点について」に対する技術提案について、提案内容に説得力があり、裏付けとなる内容も整理されており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

河川部 水災害予報センター長